

賃貸型集合住宅整備事業 近隣住民説明会に関する報告について

(開催概要)

1. 開催日時 令和5年11月2日(木) 午後7時～8時15分(終了)
2. 開催場所 朝日村中央公民館 講堂
3. 出席者 近隣住民 12名、耕作者 2名、自治会代表(古見区長) 計22名
村役場 4名、傍聴者(議会議員) 3名

※(参集範囲)

団地入口(針尾橋から上段に登る幹線道路)から中央公民館(県道)西側の間にお住まいなどの関係者の皆様

4. 会議要旨

(1) 事業の概要

- ・事業の概要について説明資料と同様の内容を会場スクリーンにスライド(パワーポイント)を投影して説明。

(2) 住宅施策の必要性

- ・少子高齢化による人口減少が進むなか、村の人口確保施策の1つである住宅施策の必要性について、広報あさひ11月号並びに村公式ホームページ(会議資料次第QRコード)に掲載の内容と同様の内容を会場スクリーンにスライド(パワーポイント)を投影して説明。

(3) 今後の予定

- ・事業実施に向けた今後(直近)の予定として、現地調査、農地転用等の行政手続き、及び事業者選定に向けた準備について説明。

5. 会議報告

参加者の皆様への事業説明及び意見交換をふまえ、事業について一定のご理解をいただけたものと認識し、事業実施に向けて進めていくこととしました。

なお、建設に伴う住環境への影響(日照・団地内の交通など)を心配されるご意見をいただきました。今後建物配置などをふまえた基本計画(基本設計)作成の段階で近隣住民の皆様と協議を行います。(令和6年秋ごろ)

6. 意見交換の主なもの

(※意見の内容・回答は要約して掲載しています。)

質問	回答（村の考え方）
村でのアパート需要はあるのか？	村内にある民間アパートの入居率はほぼ 100%。アパートについて役場にくる問い合わせ、寄せられる様々な声をふまえ、朝日村は松本市・塩尻市のベットタウンとしてニーズがあると捉えています。
なぜこの場所になったのか？	これまでに村有地の活用をふまえ、他の計画地で地元の方々と話し合いを重ね、検討を進めてまいりましたが、様々なご意見をふまえ、計画地の再選定という判断をしました。この場所は公共施設、保育園、小学校が隣接しており、子育て世帯には非常に良いロケーションであるため、新たな計画地として選定させていただきました。
集合住宅が出来ると人通りも多くなり、周辺の道路が狭いということもあり、子どもへの安全面で不安がある。	近隣住民の皆様の住環境への影響・不安については出来る限り配慮させていただきたいと考えております。具体的には基本計画（建物の配置、基本設計など）を作成する段階で、近隣住民の皆様と話し合いをさせていただきます。
人口を増やすためにこのアパートを建てるということだが、20戸程度のものを建てた場合、シミュレーションとして中期的にみて、どのくらいの人口増を見込めるのか？	チャレンジ目標人口が令和 42 年 3,100 人。現状は目標に対して約 100 人下振れの状況であり、ハードルは高いですが、これから 10 年位の間（第 6 次朝日村総合計画の残期間）に、住宅関連施策で 400 人程度増やしていくような取組が必要だと考えており、先ほど説明した住宅施策の取組スキーム（宅地分譲、賃貸住宅、空き家）で人の流れをつくりたいと考えています。
人口を確保していく上で住宅の必要性は理解した。ただ、これ（住宅対策）ばかりでなく、その他の村の魅力づくりにも力をいれていくべき。	ご意見のとおり。住みやすい村・魅力ある村にするために、ハード対策、ソフト対策など様々な取組を平行して取組む必要があると考えており、そのような視点でむらづくりを進めていきます。
建設にかかる事業費や財源はどうか？村の台所事情（財政の健全性）は大丈夫なのか？	現状においては財政の健全性が保たれていると認識しています。また、建設費については補助金の活用など、取組手法について検討中ではありますが、最大 6 億円程度かかると想定しています。また、取組にかかる収支バランスについては十分に検討していきます。

7. 説明会会場で行った参加者アンケートでいただいた主な意見

(※意見内容は要約して掲載しています。また、複数の同様の趣旨の意見は集約させていただいております。)

意見	回答（村の考え方）
想像以上に大規模な計画で驚きました	建設規模（戸数）については、チャレンジ目標人口の達成に向け、計画地で可能な限りの人口確保を図っていきたいと考えております。また、事業費については近年の社会情勢や円安などの影響で建材価格の急騰、業界の深刻な人手不足による労務費の上昇等、建設費が高騰している背景があります。
こどもが増えることもふまえ、公園整備等が必要だと思います	計画地付近には昨年、親子が集える公園・交流拠点としてリニューアルした縄文むら公園があります。村民皆さんと一緒に考え、作業して、つくり上げた公園ですので、そういった場所を利用いただきたいと考えております。
生活が苦しくなっている社会で新たに家を建てるという人が増えるのでしょうか？（アパートから戸建への住み替え）	村の人口確保対策として村の住宅施策の取組イメージ（宅地分譲、賃貸住宅、空き家）により新たな人の流れをつくりたいと考えております。また、併せてソフト事業を組み合わせ、朝日村に住み続けたいと思っていただけるようなむらづくりを目指していきます。
この敷地で 20 戸は詰め込み過ぎである。戸数を減らすなど、もう少しゆとりのある計画の方がよいのではないのでしょうか？	基本計画作成の段階で検討していきます。
遊ぶところが少ない村で、子ども達が安全に遊べる場所（車通りが少ない環境）でもある。そういう場所がなくなると思うと納得できません。	近隣住民の皆様の住環境への影響・不安については出来る限り配慮させていただきたいと考えております。具体的には基本計画（建物の配置、基本設計など）を作成する段階で、近隣住民の皆様と話し合いをさせていただきます。
宅地分譲にも力を入れていった方がよい。（向陽台のように安い価格で提供）	村の人口確保対策として村の住宅施策の取組イメージ（宅地分譲、賃貸住宅、空き家）により、宅地分譲の取組についても進めていきます
人口減少対策、是非頑張ってください。	ありがとうございます。今後、一層の住民皆さまのご理解・ご協力をお願いします。